

# 『理工系の量子力学』 正誤表

初版第2刷の発行にともない、第1刷について以下の訂正がありました。

## ●初版1刷

p. 3

上から2行目

仮説 (1923年) → 仮説 (1913年)

p.7

上から5行目

プランク定数 ( $6.6261 \times 10^{-34} \text{ J} \cdot \text{S}$ ) → プランク定数 ( $6.6261 \times 10^{-34} \text{ J} \cdot \text{s}$ )

下から7行目

ディラック定数とも呼ばれることもある. → ディラック定数と呼ばれることもある.

p.12

(2.2-1)

$\phi = A \exp\{i(k_x x + k_y y + k_z z)\}$  →  $\phi = A \exp\{i(k_x x + k_y y + k_z z)\}$

p.41

下から8行目

波動関数  $\phi$ , → 波動関数,

p.42

上から3行目

(3.1-8) 式を箱型ポテンシャルの場合と

→ (3.1-8) 式を第2章2.5節の箱型ポテンシャルの場合と

p.50

上から2行目

ぜひ解いて → ぜひ読者自身も解いて

p.102

上から5行目

(5.1-1) 式と比べ,  $r$ での1回微分する → (5-1.1) 式と比べ,  $r$ で1回微分する

p.145

(6.5-38)

$$\begin{aligned} I(\lambda) &= \int_{-\infty}^{\infty} |(\lambda\hat{F} - i\hat{G})\psi|^2 dx \\ &= \int_{-\infty}^{\infty} \{(\lambda\hat{F} - i\hat{G})\psi\} * \{(\lambda\hat{F} - i\hat{G})\psi\} dx \end{aligned}$$

→

$$\begin{aligned} I(\lambda) &= \int_{-\infty}^{\infty} |(\lambda\hat{F} - i\hat{G})\psi|^2 dx \\ &= \int_{-\infty}^{\infty} \{(\lambda\hat{F} - i\hat{G})\psi\} * \{(\lambda\hat{F} - i\hat{G})\psi\} dx \geq 0 \end{aligned}$$

p.148

上から 7 行目

実際、(6.3-7) 式の → 実際、(6.4-7) 式の

p.162

上から 13 行目

測定しない場合は、z 成分が

→ 測定前に  $m_{l_2}\eta$  の値を議論する場合は、z 成分が

p.194

下から 6 行目

～たように、動径波動関数は、 → ～たように (図 5.2-2 参照)、動径波動関数は、

p.213

(9.1-7)

$$H_{11} = \langle \phi_a(1)\phi_b(2) | \hat{H} | \phi_a(1)\phi_b(2) \rangle, \quad \rightarrow \quad H_{11} = \langle \phi_a(1)\phi_b(2) | \hat{H} | \phi_a(1)\phi_b(2) \rangle$$

p.220

下から 10 行目

詳細は第 10 章で述べる。 → 変分法の詳細は第 10 章で述べる。

p.250

下から 3 行目

$E_\nu$  は次式で求められる。 →  $E_V$  は次式で求められる。

p.257

上から 2 行目

……, 磁性, 超電導であり, → ……, 磁性体, 超電導体であり,

p.279

(11.5-4)

$$\lambda_d = \frac{h}{\sqrt{2em_e v}} \quad \rightarrow \quad \lambda_d = \frac{h}{\sqrt{2em_e \bar{v}}}$$

p.283

下から 9 行目

方位量子数の変化が  $\Delta l \pm 1$  の場合のみが

→ 方位量子数の変化  $\Delta l$  が  $\pm 1$  の場合のみが

p.302

下から 5-6 行目

……少し紹介しよう. ド・ブロイは,

→ ……少し紹介しよう (その他, 諸説あり). ド・ブロイは,

p.303

上から 2-3 行目

しかし, 面白いと考え, 当時アインシュタインのゼミに参加していた波動の……

→ しかし, 面白いと考え, そのころ知り合いになっていた波動の……

p.338

上から 4 行目

である. これより,

→ であるので, これより,

p.352

17) 高橋武彦 (著) → 高林武彦 (著)

以上、お知らせいたします。